

社外取締役からTDKへ

TDKは、経営監督機能の重要性を早くから認識し、積極的な社外役員の招へいに努めてきました。日本では2015年6月に「コーポレートガバナンス・コード」が策定されるなど、社外役員の役割が重視されてきています。ここでは、TDKの社外取締役3名から今後のTDKに期待することを語っていただきました。

オープンな議論を尊重する文化の継承

社外取締役には、独立性をもった立場から各々の見識を活かした助言や監督機能を果たすことで健全な経営を維持する役割があり、TDKの取締役会においては、社外役員による問題提起を含め毎回熱く活発な議論が交わされています。

取締役会議長を務める澄田は、「TDKは、第三者による取締役会評価をいち早く導入するなどコーポレート・ガバナンス強化に向けて積極的に取り組んできた。取締役、執行役員の意識も深まり、投資家に対しても透明性が増したと感じている」と語ります。同様に取締役会に対する印象について吉田は、「変わり続ける市場への対応、グローバル化の加速など、向き合う課題は多いが、それらに対して経営と監督の両輪から非常に活発な議論が行われている」と語りました。2015年6月より就任した石村は「社外取締役・監査役が、それぞれの見識を活かして意見するとともに、そうした意見がTDKの経営に大きな影響を与えている」と実感しているようで、これまで築いてきたオープンな議論を尊重する文化をさらに大切にしてほしいとの意見がありました。

中長期的視野を備えたリーディングカンパニーを目指して

また、「未来を見据えてたゆまぬ進化を続けていくことが重要」と澄田は指摘します。「国内企業の中ではTDKは先進的に取り組んでいるが、今後もその進化を止めずに、ガバナンス改革のリーディングカンパニーを目指してほしい」と期待しています。「TDKは素材レベルの独自技術を有する非常にユニークな電子部品メーカー。この強みをさらに強化し、差別化された存在であり続けることを期待したい」と石村が語れば、「多くの企業が短期的志向にある中、中長期的視野に立って今後の成長戦略を構築することが、将来のTDKのあるべき姿。技術的なリーダーシップとTDKブランドのさらなる確立により、中長期的投資を牽引するような仕組みを世界レベルで作り上げていって欲しい」と吉田も続けました。

TDKは今後も社外視点を経営に取り入れ、新しいものを生み出すための議論を活発に行っていきます。



社外取締役
取締役会議長、
指名諮問委員会
(委員長)

澄田 誠

【略歴】

1954年	1月6日生
1980.4	株式会社野村総合研究所 入社
1996.6	イノテック株式会社取締役
2005.4	同社代表取締役専務
2005.6	アイティアクセス株式会社取締役
2007.4	イノテック株式会社代表取締役社長
2011.6	当社社外監査役
2013.4	イノテック株式会社代表取締役会長(現任)
2013.6	当社社外監査役辞任 当社社外取締役(現任)
2015.2	INNNOTECH FRONTIER, Inc. 代表取締役会長(現任)



社外取締役
報酬諮問委員会
(委員長)

吉田 和正

【略歴】

1958年	8月20日生
1984.10	Intel Corporation入社
1999.10	同社エンタープライズ・サービス事業本部技術／OEMアライアンス事業戦略部長
2000.3	インテル株式会社通信製品事業本部長
2002.5	同社インテル・アーキテクチャ営業統括本部長
2003.6	同社代表取締役社長
2004.12	Intel Corporationセールス&マーケティング統括本部 副社長
2012.6	オンキヨー株式会社社外取締役(現任)
2013.2	Gibson Brands, Inc.社外取締役(現任)
2013.6	CYBERDYNE株式会社社外取締役(現任)
2013.10	インテル株式会社顧問
2014.6	当社社外取締役(現任)
2015.6	株式会社豆蔵ホールディングス社外取締役(現任)



社外取締役
指名諮問委員会(委員)、
報酬諮問委員会(委員)

石村 和彦

【略歴】

1954年	9月18日生
1979.4	旭硝子株式会社入社
2006.1	同社執行役員
2007.1	同社上席執行役員エレクトロニクス&エネルギー事業本部長
2008.3	同社代表取締役兼社長執行役員COO
2010.1	同社代表取締役兼社長執行役員CEO
2015.1	同社代表取締役会長(現任)
2015.6	当社社外取締役(現任)